

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 デジタルアーツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2326 URL <https://www.daj.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道具 登志夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 小西 勲 (TEL) 03-5220-6045
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,541	6.5	872	△13.5	885	△13.2	614	△12.4
2023年3月期第1四半期	2,386	24.3	1,009	38.0	1,019	39.1	702	38.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 617百万円(△12.7%) 2023年3月期第1四半期 706百万円(39.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	43.87	43.08
2023年3月期第1四半期	50.00	48.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	20,446	13,909	67.9	992.45
2023年3月期	21,149	14,173	66.9	1,007.27

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 13,877百万円 2023年3月期 14,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,500	10.2	5,150	16.7	5,150	16.3	3,550	15.9
								252.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	14,133,000株	2023年3月期	14,133,000株
2024年3月期1Q	150,133株	2023年3月期	93,833株
2024年3月期1Q	14,018,845株	2023年3月期1Q	14,039,243株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競争状況・為替・金利の変動等もかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類へと移行しました。それにより社会経済活動の正常化と消費行動の回復が見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化や外国為替市場での急激な円安・ドル高を原因とする物価の上昇など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属するセキュリティ業界においては、ランサムウェア・Emotetに加え、キーボード操作などから機密情報を窃取する遠隔操作型のマルウェアであるAgent Tesla等、多様化するサイバー攻撃被害が激化していることを背景としてセキュリティ製品に対する需要が拡大しており、大規模企業のみならず、相対的にセキュリティ対策が遅れている中堅・中小企業においても新規導入需要が拡大しております。

こうした中、当社はトータルセキュリティニーズの高まりに対応するため、主力製品「i-FILTER」、「m-FILTER」、「FinalCode」の連携・機能強化と多様なセキュリティソリューションの追加搭載、さらにi-FILTER@CloudのCASB機能(クラウドサービスの利用状況の可視化や制御を実現する機能)などの新機能追加により、独自の次世代SWG(Secure Web Gateway)の展開に注力しました。

また、中期経営計画において掲げていたビジョン「新しい価値創造と需要拡大」を実現するサービスの一つとして、コミュニケーションツールである新製品「Desk」を当初計画から前倒して展開いたしました。

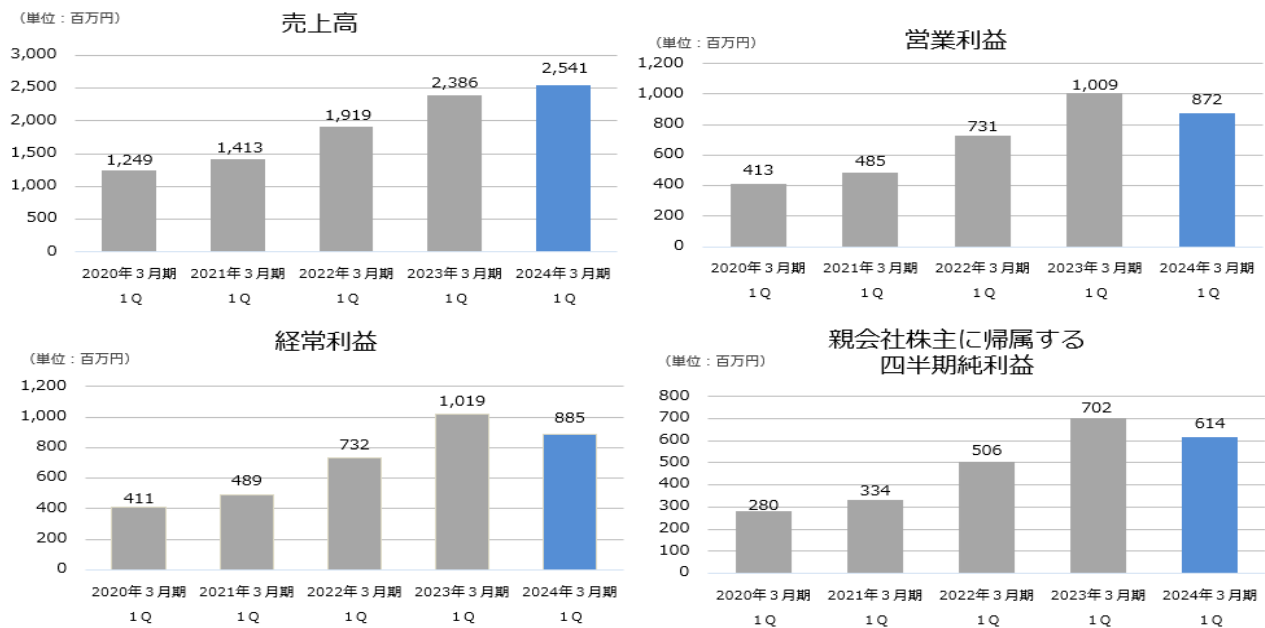
その一方で、クラウドサービス系製品のライセンス数増加と為替影響によりサーバー費用が増加し、子会社デジタルアーツコンサルティングの人員数増加により人件費が増加しました。また、過去にない数の新機能追加・新製品リリースを予定していることから、代理店向け拡販イベントや社内戦略会議に対して積極的に投資したことで、売上原価及び販売費及び一般管理費が前年を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,541百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は872百万円(同13.5%減)、経常利益は885百万円(同13.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は614百万円(同12.4%減)となりました。

連結経営成績の概況

(単位：百万円)

	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減額	増減率 (%)
売上高	2,386	2,541	+155	+6.5
営業利益	1,009	872	△136	△13.5
経常利益	1,019	885	△134	△13.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	702	614	△87	△12.4



各市場の業績は次の通りです。

企業向け市場

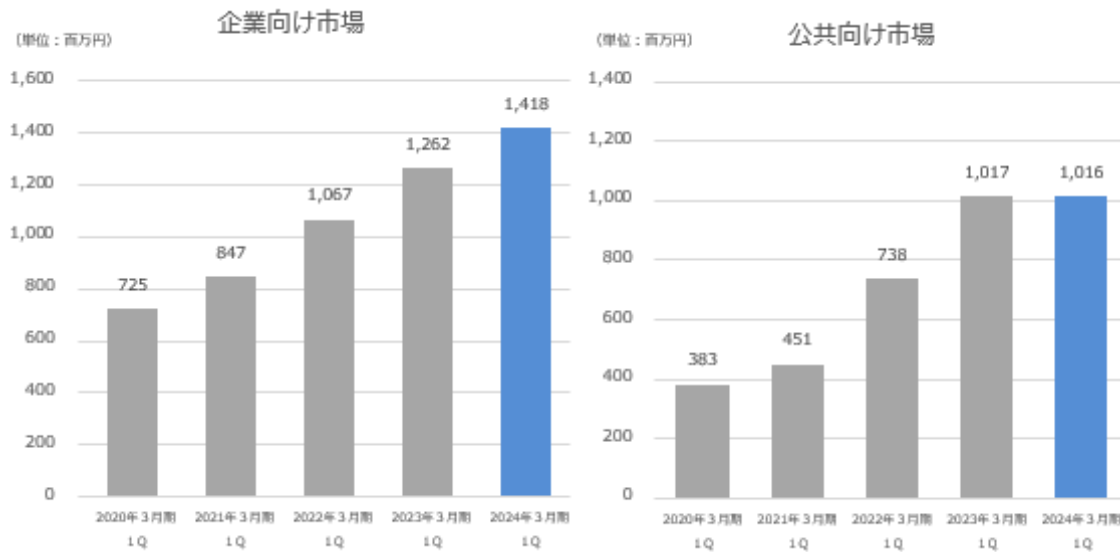
企業向け市場においては、多様化するサイバー攻撃被害の多発によるトータルセキュリティニーズの高まりを受けてリリースした新機能オプションによる新規案件獲得が順調に進みました。また、PPAP（ファイルをパスワード付きZIPファイルにしてメールで送付し、パスワードを別送するファイルのやり取り）対策やEmotet等の標的型攻撃に対応した機能が評価され、「m-FILTER」の新規案件の受注を獲得し、クラウドサービス系製品の売上高が増加しました。また、セキュリティコンサルティングサービスを提供している子会社デジタルアーツコンサルティングが、コンサルタント人員の増加に伴い、ISMAP取得関連の案件をはじめ、セキュリティ診断からセキュリティ施策の実行支援まで包括的な支援を行う新規案件の獲得等により売上高を拡大しました。

以上の結果、企業向け市場の売上高は、1,418百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

公共向け市場

公共向け市場においては、「GIGAスクール構想」におけるフィルタリング未導入の学校において新規案件を獲得し、自治体向けのセキュリティ対策強化に対応したソリューションの提案に注力し、新規案件を受注しました。

以上の結果、公共向け市場の売上高は、1,016百万円(前年同期比0.1%減)となりました。



家庭向け市場

家庭向け市場においては、携帯電話事業者やMVNO事業者等との連携、1つのシリアルIDで複数OSでの利用が可能な「i-フィルター for マルチデバイス」の販売に注力しました。

以上の結果、家庭向け市場の売上高は、106百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ702百万円減少し、20,446百万円となりました。これは主として、現金及び預金が630百万円、受取手形及び売掛金が220百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ438百万円減少し、6,537百万円となりました。これは主として、未払法人税等が542百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ264百万円減少し、13,909百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加を上回る配当金の支払いおよび自己株式の取得があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、2023年5月9日に公表いたしました業績見通しからの変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,018	16,387
受取手形及び売掛金	1,574	1,354
製品	19	5
貯蔵品	3	2
その他	309	439
流動資産合計	18,925	18,189
固定資産		
有形固定資産	209	231
無形固定資産		
ソフトウェア	1,264	1,251
その他	243	275
無形固定資産合計	1,508	1,526
投資その他の資産	506	498
固定資産合計	2,223	2,256
資産合計	21,149	20,446
負債の部		
流動負債		
買掛金	238	119
未払法人税等	839	297
賞与引当金	156	74
前受金	5,187	5,317
その他	502	677
流動負債合計	6,924	6,486
固定負債		
資産除去債務	48	48
その他	1	1
固定負債合計	50	50
負債合計	6,975	6,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	713	713
資本剰余金	953	953
利益剰余金	12,768	12,821
自己株式	△308	△628
株主資本合計	14,127	13,860
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14	16
その他の包括利益累計額合計	14	16
新株予約権	11	11
非支配株主持分	20	20
純資産合計	14,173	13,909
負債純資産合計	21,149	20,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 6 月30日)
売上高	2,386	2,541
売上原価	766	1,019
売上総利益	1,619	1,521
販売費及び一般管理費	609	648
営業利益	1,009	872
営業外収益		
受取利息	0	0
未払配当金除斥益	0	0
為替差益	8	9
雑収入	0	2
営業外収益合計	10	12
営業外費用		
雑損失	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益	1,019	885
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,019	890
法人税等	316	275
四半期純利益	703	614
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	702	614

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2022 年 4 月 1 日 至 2022 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2023 年 4 月 1 日 至 2023 年 6 月 30 日)
四半期純利益	703	614
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3	2
その他の包括利益合計	3	2
四半期包括利益	706	617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	705	617
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。